

科目名称	ランドスケープデザインの歴史			授業コード	20012212
担当教員	長濱 伸貴				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	選択
年次	2	開講年度	2019	開講学期	後期
関連資格	建築士				
履修制限等					
到達目標(目的含む)	ランドスケープデザインの近代史について、映像を中心に学習しながら、それぞれの年代における作品の空気感を直感的に習得する。				
授業の概要	公園・広場および庭園の空間を対象としたランドスケープデザインの歴史的な意味や社会的な役割について、建築やアートなどの時代背景と共に、その時系列的な探究によってアプローチする。このことによって、ランドスケープデザインの基礎知識の習得および建築や都市計画、インテリア、アートなどの他領域との関係性や協働性を考えるきっかけづくりとなることを目指す。 ランドスケープデザインは計画・設計の実務能力が必要であることから、実践的な内容が求められる。ランドスケープアーキテクトとしての実務経験をもとに、具体的かつ実践的な基礎知識と手法等について講義する。				
授業計画	1: ランドスケープデザインの近代史(概論) 2: 庭園からランドスケープデザインへ(1850年以前) 3: 近代ランドスケープデザインの幕開け(1850～1900年) 4: 都市とランドスケープの結合(1900年代) 5: 日本のランドスケープデザインの幕開け(1910年代) 6: 建築モダニズムとランドスケープ(1920年代) 7: ランドスケープのモダニズム運動の胎動(1930年代) 8: ランドスケープデザインの断絶期(1940年代) 9: ランドスケープのモダニズムの展開(1950年代) 10: ランドスケープのモダニズムの実践(1960年代) 11: エコロジカル・ランドスケープ(1970年代) 12: ランドスケープデザインの復興(1980年代) 13: アートとしてのランドスケープ(1990年代) 14: ランドスケープデザインの現在(2000年代) 15: ランドスケープ近代史の年表作成				
授業時間外学習	都市、建築、インテリア空間のデザインと合わせて学習することを推奨する。また、「環境デザイン実習Ⅰ」課題B(ランドスケープ設計の方法を学ぶ)の補完講義である。				
評価方法	毎回の講義中に提出するレポートによる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト	『テキスト ランドスケープデザインの歴史』学芸出版社				
参考テキスト・URL					
各自準備物					
実習費					
その他	単位互換講座提供科目(UNITY、ひょうごコンソ)				